

平成18年度川崎区区民会議 第1回イメージアップ部会会議録

日 時 平成18年11月21日(火)午後6時30分
場 所 川崎区役所7階会議室

出席委員：9名(敬称略)

森教祐、金岩勇夫、中村紀子、島田潤二、魚津利興、青木恵美子、荒井敬八、小笠原功、
星川孝宜

傍聴：0名

議題及び公開・非公開

- (1) 具体的な取り組みについて(公開)
- (2) その他(公開)

1 開 会

事務局(会議公開及び写真撮影の説明、出席委員確認、事務局職員紹介など)

2 部会長あいさつ

部会長 委員の皆さんのアイデアで区のイメージアップを図っていきたいと考えている。

本日の審議結果を第3回区民会議で報告するので、積極的な発言をお願いしたい。

今日は、資料として各委員からこれまでに出された意見とそれに対する具体的な取り組み案をまとめたものがあるので、それを基に区民が取り組むべきこと、取り組むことができることなどを議論していきたいと思う。

3 連絡事項

事務局(本日の議題及びタイムスケジュール説明、配布資料確認)

4 議 題

- (1) 具体的な取り組み内容について

部会長 まず「身近な環境整備」の中で、放置自転車についての意見が特に多かったので、事務局から現状、取り組みなどを説明してもらい、それを踏まえて議論をしたい。

事務局 (JR川崎駅東口周辺の駐輪場、区内の自転車利用状況、放置自転車の撤去状況、市の施策などを説明)

部会長 行政もさまざまな取り組みをしているが、やはり時間をかけなければ解決は難しいようだ。まず、区民に何ができるかということから議論していきたいと思う。

委員 自転車メーカー、販売店などと行政の連携状況はどのようになっているのか。

事務局 神奈川県自転車商協同組合と年に数回会合を開いて意見交換をしている。

委員 自動車の場合は販売時に廃棄費用が上乗せされているが、自転車でも同様の制度が導入できないだろうか。市場競争の中で難しいだろうが、企業にも社会的責任があるので、メーカーなどにも協力してもらってよいのではないか。

例えば、自転車の販売時に1,000円くらいを徴収し、放置自転車撤去費用に充てるといったことはできないだろうか。

事務局 自転車メーカーは、どちらかという自転車の整備など、自転車に乗りやすい環境の整備を要望するケースが多い。

自転車は、自動車と異なり登録制でないので、販売時に費用を徴収するのは難しい。防犯登録ではなく、自動車同様の登録制度が必要と考えている。

委員 区にとっては大きな課題なので、区民会議で要望していったらよいのではないか。

委員 壊れている自転車はどのように処分しているのか。

事務局 自転車の廃棄は環境局が行っている。市民が廃棄する場合は、粗大ごみとして有料で処分している。放置自転車は撤去後、保管所で壊れているかどうかを確認し、処分している。

委員 まず、壊れている自転車を廃棄し、見苦しい状態をなくすべきだと思う。

将来的には駅前周辺への自転車の乗り入れを制限すべきだと思う。自転車の事故も多発している。法律上、自転車は車両であるため、規制をする必要があると思う。

事務局 駅前広場への自転車の乗り入れを規制してはどうかという意見はある。

規制する場合の課題は、現在は道路交通法を基に警察が規制をしているが、それを市の条例で規制できるかどうかということと、警察が取り締まる場合は罰則など強力な規制手段があるが、行政の場合は、指導程度にとどまることである。

委員 自転車の利用目的別に把握する必要もあると思う。バスなどの公共交通機関の代替として利用する場合と、地域を周遊する場合とでは使われ方が違う。

教育の現場でも区内の自転車のひどい状況を教えたらいと思う。

自転車は便利だが、便利さだけを享受するのではなく、同時に不便さも受け入れるべきだと思う。

委員 自転車利用者も駅から少し離れた所に駐輪して歩くくらいの不便さは受け入れるべきだと思う。

放置自転車対策に年間どれくらいの費用がかかっているのか。

事務局 今年度予算は全市で約 3,300 万円である。

委員 中原区は武蔵小杉駅周辺の放置自転車問題を試行の区民会議でも大きく取り上げており、熱心に取り組んでいるようだが、改善状況はどうか。

事務局 武蔵小杉駅周辺の放置自転車台数の状況はあまり改善されていないが、地域の「自転車と共生するまちづくり委員会」が駐輪場への誘導、放置自転車の整理、啓発チラシの配布などの取り組みをしている。

委員 現在、公園は駐輪禁止だが、駐輪場所があまりにも不足するようならば、駐輪を許可せざるを得なくなるかもしれない。

駐輪場がないマンションの住民などが、商店街の歩道を駐輪場がわりに利用している例も多い。

委員 資料を見ると、平成 14 年度から平成 18 年度までの間に約 3,000 台分の駐輪場を増やしたが、それと同様に自転車利用者も増えている。駐輪場の設置だけでは解決は難しいと思う。

事務局 3,000 から 5,000 台くらい大規模の駐輪場を設置すると同時に規制をかけなければ、あまり効果がないと考えている。

部会長 放置自転車はどのような定義をしているのか。

事務局 自転車から持ち主が離れていて、制御できない状態としている。簡単に言えば、

持ち主が自転車を置いてどこかに行ってしまった状態である。

部会長 平日の午後などに市役所通りの金融機関の前に多くの自転車が駐輪されているのを見かける。

事務局 先日、金融機関に駐輪施設の設置、啓発ポスターの掲示などを依頼したが、できることは協力するが駐輪施設の設置は用地が確保できないので難しい、とのことだった。

委員 市役所通り、新川通りの歩道を駐輪場として使用しているが、お昼頃に行っても満車でとめられないことがよくあり、そのため、違反とわかっていてもその近くに置いてしまうことがあるという話を聞くことがある。

川崎区は平坦地なので自転車が利用しやすいため、区民が利用しないようにしていくことは難しい。先ほど意見で出たように、便利さだけを享受するのではなく、同時に不便さも受け入れるべきだが、国道15号線から駅側は自転車乗り入れ禁止にし、少し歩くようにしたり、レンタルサイクルなどを設けたりするなどの工夫が必要だと思う。

アメフトワールドカップに向けては、市役所通り、新川通りの歩道は、現在、条例で駐輪が認められているが、景観上はよくないので全面的に禁止した方がよいと思う。

委員 自転車の問題は、自転車そのものではなく、利用者のマナーが問題だと思う。自転車に限らず、ごみ、路上喫煙などの身近な環境整備は、突き詰めればマナーの問題に行き着く。何らかの規制をかけても、規制には抜け道があるのであまり効果がない。

大人のマナーが悪いとそれを見ている子どものマナーも悪くなる。区民に最も足りないのはマナー意識だと思う。非常に時間がかかる取り組みだが、マナー意識を改善しないと10年後、20年後も同じ議論をしていると思う。

これまで行政などがさまざまな取り組みをしてきたが、マナー啓発にはまだあまり取り組んでいない。自分の家や職場をきれいにすると同じように、自分たちのまちをきれいにしたいという気持ちを醸成すればよいと思う。

自転車が駐輪してあっても、整理されていればきれいに感じる。それくらいならばちょっとした啓発でできると思う。

時間や手間もかかり、成果も挙がりにくいですが、抜本的な解決策はマナーの向上しかないと思う。

委員 昨年度、全交通事故に占める自転車交通事故の割合が約37%と、区は県内トップだった。自転車は道路交通法上軽車両なので規制や取り締まりの対象になるが、そのこ

とをあまり区民が認知していない。まず、自転車について正しく認知してもらうことが重要だと思う。

認知してもらう活動には、行政だけでなく販売店にも協力を要請し、区民も自転車教室などで子どもたちに教えるなどの活動ができると思う。

委員 特定の数十人程度の問題であれば、マナー啓発で解決できるかも知れないが、数千台規模の放置自転車では、集団性、匿名性が高まり、マナー啓発での改善は難しいと思う。

自動車の登録制に近い考え方だが、所有者がわかるようにすべきだと思う。例えば、マンションの駐輪場などでは、専用のステッカーが貼っていないととめられない。登録料を徴収しているわけではないが、所有者がわかる。このように、ステッカーを配布し、そのステッカーが貼っていないと駐輪場を利用できないなど、匿名性を排除しなければ効果が望みにくいと思う。

委員 ステッカーを配布して登録制のようにするのも一つの案だと思う。しかし、実現するには、区内には何万台もの自転車があると思うので、相当な手間と費用がかかるが、行政は負担できないだろう。販売店などに協力してもらう場合も行政が交渉しなければならないだろう。

委員 行政が登録制などの規制をかけようとする、規制よりも駐輪場を増やすなど快適に利用できる環境を整備すべきだといった反対意見が出され、実行しづらい。しかし、多くの人が迷惑しているのであれば、必要な措置を講じるべきだと思う。

全ての自転車に登録を義務付ける制度ではなく、登録してある自転車を優遇する制度にするという方法もある。

委員 自動車の路上駐車でも取り締まり作業の間を縫って駐車されてしまうので、自転車も規制したとしても網をかいくぐって駐輪されてしまうのではないだろうか。撤去作業も台数が多くて追いつかない。規制や取り締まりだけでは解決が難しいと思う。

委員 市役所通りと新川通りの歩道に、自転車を駐輪させないことだけがイメージアップではないと思う。発想を変えれば、自転車が駐輪されていても整然と並んでいれば、これだけの台数がきれいに並べられているということで、イメージアップになると思う。

委員 マナー啓発は初期段階であれば効果があったかも知れないが、放置自転車が何千台もある現状では他の手段が必要だと思う。

委員 自動車の駐車禁止取り締まりが強化され、違法駐車が大幅に減った。しかし、少し時間が経つとまた違法駐車が増えてしまう。

委員 自転車駐輪されやすい施設の前を重点的に取り締まることから始めたらどうか。例えば、金融機関や遊技場などが駐輪されやすいのであれば、その周辺を駐輪禁止にするなどである。

部会長 マナー意識の啓発であれば、区民にできることは一声運動の実施、自転車教室などでのマナー教育などが考えられる。

時間の制約があるので、身近な環境整備の他の課題に移る。

たばこのポイ捨ての現状はどうか。

事務局 市が4月1日から路上喫煙防止条例を施行したため減少した。

10月1日からは2,000円の過料を徴収することができるようになったが、よほど悪質なものでない限り徴収はしない方針のため、まだ徴収した事例はない。

部会長 ホームレス問題の現状はどうか。

事務局 詳しくは委員から説明をお願いします。

委員 先日、ホームレス自立支援市民事業の会議が開催された。結論から言うと、自立支援であるため本人に自立の意思がないと解決に結びつかない。

解決に向けて前進したのは、地域の人々の理解を得て区内に3カ所の自立支援施設が設置され、駅前にいたホームレスの人を受け入れられるようになったことだ。現実にはいろいろな問題があるため自立できる人は少ないが、根気よく取り組んでいくしかないだろう。

区内のホームレス問題は、全体的に見て改善されている。しかし、多摩川河川敷で増えていることも事実である。

最近では、地域のNPOの活動などにより、ホームレスの人が地域の人に迷惑をかけるということはあまりなくなったようだ。

部会長 身近な環境整備の具体的な取り組みについて意見を出して欲しい。

委員 ホームレス問題だが、富士見公園のテニスコート周辺にまだ多くの人がいるので、

対策が必要である。

身近な環境整備についての具体的取り組みだが、課題解決案がいろいろ出されたが、何をするにしても費用がかかる。その費用を行政、町内会など、どこが負担するのも併せて検討する必要があると思う。

委員 例えば、公園に市の花であるつつじを飾ることなどであれば、あまり費用もかからず始められると思う。

部会長 「アメフトワールドカップの成功に向けて」だが、現状の説明を事務局にお願いしたい。

事務局 （アメフトワールドカップの概要、市の考え方や取り組みなどを説明 第2回区民会議で意見として出されたJR川崎駅東西自由通路でのプロモーションビデオの放映は、アゼリアビジョンと河川情報表示板で15秒CMを放映中。30秒、90秒CMの放映は交渉中）

部会長 市内でアメフトチームがあるのは富士通だけか。

事務局 市が把握しているのは富士通フロンティアーズだけである。富士通ジュニアフロンティアーズ、マロンティアーズというフラッグフットのチームは好成績を残している。

委員 他の企業もこれを機にアメフトチームを結成すれば、企業イメージの向上になると思う。企業チームであれば、継続的活動ができると思う。

委員 資料に市の取り組みで「大会会場周辺及び最寄り駅における環境整備」とあるが、具体的にどのようなことか。

事務局 環境整備といっても、入退場ゲートを設置するなど主にハードの整備であり、区民会議で議論している身近な環境整備とは異なる。

委員 アメフトワールドカップ支援委員会の取り組みがもう少し具体的にならないと、議論が進まない。

事務局 現段階では、どのように市外から来る人への歓迎ムードを醸成するかくらいしか議論できないだろう。

委員 支援委員会も組織ができたばかりで、まだ具体的取り組みは決まっていない状況だろう。今後いろいろなことが決まっていく中で、区民会議でも検討していけばよいと思う。

委員 ボーイスカウト、ガールスカウトなどの組織にあらかじめ協力依頼をしておけば、今後実際に活動してもらう際に迅速に対応できると思う。

委員 各団体が支援委員会にいろいろ助言することもできると思う。

委員 第1回大会がイタリアで開催されているように、これは国家的事業だと思う。川崎の印象が外国から来た人の日本のイメージを決めるので、国の支援があってもいいと思う。

委員 4月に大師地区で「かわさき楽大師」というお祭りが開催されているが、来年のかわさき楽大師にアメフトの選手などに参加してもらうことは可能か。

委員 アメフトのPRにもなるので可能だろう。

部会長 現段階でできることは、笑顔、あいさつ運動などで歓迎ムードを醸成することだろう。

委員 かわさき市民祭り、いいじゃんかわさきなどのお祭りでアメフトのPRをしていたが、アメフト選手が参加していなかった。アメフトは選手の体格のよさやプロテクター姿などが魅力の一つなので、PRの際には選手に参加してもらえるように関係団体と連携を取った方がよいと思う。

川崎球場の芝生席は、雨が降った場合は観戦に不向きなので改善の必要があると思う。

部会長 アメフトワールドカップについては、もう少し具体的になってから人的支援をする。

次に「歴史を観光に活かすについて」だが、最近は西口が脚光を浴びることが多いが、東口には東海道があるので、それを活かしたまちづくりを考えたいと思う。

委員 資料にあるとおり東海道川崎宿の拠点整備が必要だろう。ただ、拠点を整備するだけでなく、整備した後も継続的に取り組める仕組みまで区民会議の中で議論すべきだと

思う。

事務局 「身近な環境整備」「アメフトワールドカップの成功に向けて」「歴史を観光に活かす」の3つの課題を同時進行で議論すると、議論が広範に渡り、まとめにくいので、まず「身近な環境整備」について協議し、その方向性が決まったら「アメフトワールドカップの成功に向けて」「歴史を観光に活かす」と順番に議論してもよいと思う。

部会長 「歴史を観光に活かす」については次回以降議論していく。

当面は間近に迫っているので「身近な環境整備」踏まえた「アメフトワールドカップの成功」を検討する。

委員 アメフトワールドカップで川崎に来た人に区の歴史や魅力を発信することもよいと思う。

委員 アメフトワールドカップに来た人に区の観光案内チラシなどを配布すれば効果があると思う。

委員 東海道川崎宿の拠点整備は次回以降詳しく議論すればよいと思う。観光だけでなく、区の歴史を子どもの教育にも活かせればよいと思う。例えば、工場見学などをすると子どもはものづくりに非常に関心を持つようになる。

委員 田島地区で現代彫刻展2006が開催されているが、地域の学校も巻き込んで取り組んでいる。

部会長 区民も、特に子どもは区内の産業をあまり知らない。いろいろ教えると関心を持つ。江戸時代の歴史だけでなく、近代産業遺産なども活かしていくとよいと思う。

今後、区内の産業も含めて歴史を観光に活かすことを議論していく。

(2) その他

〔特になし〕

5 事務連絡

事務局 (第2回区民会議会議録確認の依頼、第3回区民会議の開催を説明)

6 お礼

区長 他区の開催状況は、7区とも2回の区民会議を開催し、具体的取り組みは専門部会で検討している。川崎区の区民会議においても、今日の議論の内容を踏まえ、第3回区民会議でさらに内容を深めて、よい成果を出して欲しいと考えている。